玄々堂君津病院　院内トリアージ実施基準

2026 年 5 月
外来

当院の理念

当院は一人ひとりの患者さんを大切にし、 **良質で安心なぬくもりのある医療**を提供することを基本理念としています。

1. 目的

本基準は、救急外来を受診する患者に対し、緊急度・重症度に応じた適切かつ迅速な対応を行うため、 院内トリアージの実施方法および体制を定めることを目的とする。

2. トリアージの対象

以下の患者を対象とする。

- 夜間・休日・深夜に救急外来を受診した患者
- 救急搬送患者およびウォークイン患者
- 入院中の患者を除くすべての救急外来受診者

3. トリアージの実施体制

- 当院は、院内トリアージを実施するために必要な体制を整備する。
- トリアージは以下の者が実施する：
    - 専任医師(工藤副院長)
    - 救急医療経験 3 年以上の専任看護師
- 専任医師・看護師は、救急外来医学管理料の施設基準で求められる専任者と兼務可能。

4. トリアージの目標開始時間・再評価時間

■ トリアージ目標開始時間

- 来院後 **15 分以内** に初回トリアージを開始する。

■ 再評価時間

- 初回評価後、以下の基準で再評価を行う。
  - 重症度が高い患者：15 分以内
  - 中等症：30 分以内
  - 軽症：60 分以内
- 状態変化が疑われる場合は、随時再評価を行う。

5. トリアージ分類（5 段階）

レベル	内容	例
Ⅰ（最優先）	生命の危機が切迫し即時対応が必要	心停止、ショック、重度呼吸困難
Ⅱ（緊急）	迅速な診察・処置が必要	中等度呼吸困難、意識障害、重度疼痛
Ⅲ（準緊急）	状態悪化の可能性があり一定時間内の対応が必要	発熱、軽度呼吸困難、腹痛
Ⅳ（非緊急）	緊急性は低いが医療的介入が必要	軽度外傷、慢性疾患の軽度増悪
Ⅴ（軽症）	医療介入の必要性が低い	軽微な外傷、軽度感冒症状

6. トリアージの流れ

1. 受付後、速やかにトリアージ担当者が初期評価を開始する
2. バイタルサイン測定・症状聴取・観察
3. トリアージ分類（Ⅰ～Ⅴ）を決定
4. 診察室への案内または待機場所への誘導
   レベルⅠは救急室メインベッドで対応
   レベルⅡは救急室
   レベルⅢは救急室または前室で感染対策に基づいた対応
   レベルⅣ・Ⅴは処置室もしくは診察室での対応とする
5. 必要に応じて専任医師へ即時報告
6. 初回評価後、基準に基づき再評価を実施
7. 状態変化があれば随時再評価し、分類を変更する

7. 患者への説明・掲示

- 院内トリアージの目的・方法について、患者および家族に説明する。
- トリアージ分類の概要を救急外来の見やすい場所に掲示する。
- 原則として、当院ウェブサイトにも掲載する

8. 基準の見直し

- 本基準は、医療情勢・診療報酬改定・院内運用状況に応じて **年１回以上** 見直しを行う。
- 必要に応じて随時改訂する。